Europe Indicators

発表日:2020 年 6 月 17 日(水)

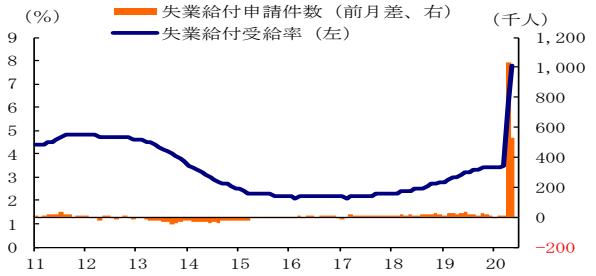
欧州経済指標コメント:６月英国労働統計

～相反する2つの失業率～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理(TEL:03-5221-4527)

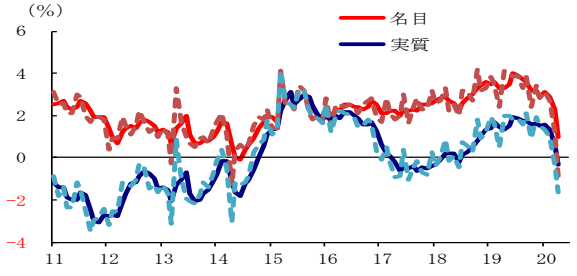
- 16日発表の労働力調査ベースの英国の失業率は、４月から遡って３ヶ月の移動平均値で3.9%と前月（１～３月平均）から不変。新たに計算に加わった４月値が3.90%と、同一サンプルの１月値（3.96%）から低下。３月24日の都市封鎖開始後の統計でも失業率の上昇が回避された。
- ４月20日に申請が開始された休業者に給与の８割を給付する所得支援制度（ジョブ・リテンション・スキーム）は、５月３日時点の対象労働者数が630万人。政策支援に支えられた企業の雇用保蔵が失業率の上昇を抑制した。また、４月の就業者数は前月差で15.3万人減少、同一サンプルを比較した３ヵ月前比でも過去数ヵ月の約20万人増のペースから６千人増に急減した。都市封鎖で求職活動が出来なかった人や職探しを諦めた人の増加も失業率の上昇を抑制。
- 失業給付の申請件数は４月に前月差＋103万人と急増した後、５月も同＋53万人と大幅な増加が続いたものの増加ペースは鈍化した。低所得者向け生活保護給付（ユニバーサル・クレジット）の一部受給者が失業給付の申請件数に含まれている。前述の所得支援制度の対象労働者は６月14日時点で910万人に増加、自営業者を対象とした類似制度の利用者も６月14日時点で260万人。５月以降も所得支援が失業率の上昇抑制要因となっているが、それでも５月の失業給付ベースの失業率は前月の6.3%から7.8%に上昇。同制度は８月以降に順次企業負担が増え、10月末で打ち切られる。政策支援の段階的な縮小に伴い、失業率には遅れて上昇圧力が及ぶことが予想。
- 全産業の週当たり賃金（賞与を含む）は、４月から遡って３ヶ月の移動平均で前年比＋1.0%と年初の同＋３%前後のペースから急減。４月単月では同▲0.9%と2014年４月以来のマイナス。

■英国：失業率と失業給付申請件数



出所：英国統計局

■英国：週当たり賃金・賞与（全産業、前年比）



注：実線は３ヶ月移動平均値　出所：英国統計局

■英国の失業給付・平均賃金

	2019							2020				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
失業率（失業給付、%）	3.2	3.2	3.3	3.3	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.5	6.3	7.8
失業給付件数（前月差、千人）	31.4	19.7	16.3	13.5	26.4	15.0	2.6	-0.2	5.9	5.4	1,033	529
失業率（労働力調査、%）	3.9	3.8	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	4.0	3.9	3.9	—
（単月の失業率、%）	4.07	3.73	3.76	4.01	3.53	3.89	3.90	3.96	4.01	3.76	3.90	—
就業者数（前月差、千人）	114	31	-56	-58	24	208	181	184	172	210	6	—
週当たり賃金（産業計、前年比、%）	4.0	3.9	3.7	3.6	3.2	3.2	2.9	3.1	2.9	2.3	1.0	—
賃金	3.9	3.9	3.8	3.6	3.5	3.3	3.2	3.1	2.9	2.7	1.7	—
ボーナス	3.5	5.0	1.6	4.1	-4.1	-1.3	-5.1	3.6	0.9	0.6	-6.8	—

注：労働力調査基準の失業率、就業者数、週当たり賃金は当月で終わる３ヶ月移動平均　出所：英国統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。